

生活安全だより



第 40 号
(令和4年4月1日)

発行 多摩稲城防犯協会
事務局 多摩中央警察署内
多摩市鶴牧1-26-1
☎・FAX 042-337-0019
E-mail: tamainagi-bouhan@nifty.com
HP: http://tamainagibouhan.org/

春の地域安全運動 5月1日(日)～5月10日(火)

守ろうよわたしの好きな街だから



子供と女性の犯罪被害防止

特殊詐欺の被害防止

自転車盗の被害防止

多摩中央警察署管内特殊詐欺被害多発中!!

電話でお金の話は…全部詐欺!!

カード・お金は渡さない!!

ATMでお金は戻らない!!

第三者に電子マネーの番号を教えない!!

オレだけど、大事な書類を無くした。お金が必要になった。

市役所です。医療費の還付金があります。

多摩中央警察署の●●です。あなたの個人情報が漏れています。

パソコンがウィルスに感染しました。コンビニで電子マネーを買ってきてください。

ストップ! ATMでの携帯電話

現在警視庁では、高齢者を詐欺から守るため、ATM付近での携帯電話の通話をしない、させない対策を推進中です。ご理解、ご協力をよろしくお願いします。

多摩中央警察署管内 特殊詐欺被害概況

	多摩市		稲城市		合計	
令和3年	12件	約3,560万円	9件	約760万円	21件	約4,320万円
令和2年	28件	約6,100万円	7件	約1,440万円	35件	約7,540万円

※前年比 - 14件、-約3,220万円

理事・支部長研修会



島田署長ご挨拶



二重課長「1700件相談に対応」

特殊詐欺 27 件防ぐ

コロナが発症して2年の間、島田署長のご挨拶を聴く機会もないことから、11月17日（水）企画対策部主催の日帰り研修の場所を至近の新設されましたKDDIミュージアム美術館と決め、島田署長と生活安全課長からの講話を合わせ企画しました。島田署長からは日頃の防犯協会の地域防犯パトロールの労いと御礼が述べられ、「あなたのキャッシュカードが不正に使用されているとの事で警察官を名乗っての特殊詐欺があいかわらず発生しているので十分注意するように、まわりの方々にも注意喚起を願います。金融機関やタクシードライバーとの連携で27件未然に防止できています。これからも署員一丸となって安全安心な町づくりに努めていきます」との心強いお言葉がありました。続いて生活安全課の二重課長からはプロジェクターを使って生活安全課員の顔写真を映しながら課の業務内容を縷々説明があり、市民から多くの心配ごとや不安の生活相談だけで1700件にもなることを改めて知りありがたく思いました。

KDDI 社に機器の開発を

2時からは歩いて5分のKDDIミュージアムに行き、日本の国際通信の歴史を過去の通信機器を見ながら、わかりやすい説明を聴き、通信の飛躍的な進歩に驚かされました。最先端のIT技術を活用してのゲーム感覚でのユニークな町作り体験もあり、締めはサプライズの写真撮影でした。美術館には平山郁夫の絵画やエミールガレのガラス工芸品など一見の価値のある名作品に潤いをもたらしました。最後にKDDI社に特殊詐欺を抑止するための通信機種の開発をお願いし、薄暮れのなか白亜の殿堂をあとにしました。



KDDI ミュージアムの前にて

令和3年11月13日（土）「犯罪を起こさせない美しい街づくり活動」



稲城駅北側ロータリーと百村高架下で「犯罪を起こさせない美しい街づくり活動」を行いました。

この活動は毎年、春と秋に実施しており、きれいな街は犯罪が少ないと言われていることから多摩稲城防犯協会と多摩中央警察署が、環境美化活動の一環として、花壇に花の植栽を行っております。また、この花の苗は、稲城市公共施設アダプト制度を活用して実施しております。



年末市内一斉防犯パトロールの実施について

令和3年12月15日（水）稲城市内7ヶ所を拠点として、年末市内一斉防犯パトロールが実施されました。

今回は、新型コロナウイルスの感染がおさえられている中での実施、92団体約830名の参加者がありました。

防犯協会をはじめ、各種団体の方々、拠点から家路までのパトロール、地域の目で防犯意識の高揚を図ることができました。



令和3年度 中学生防犯作文

テーマ ストップ特殊詐欺！ ～おじいちゃん、おばあちゃんが電話でだまされないためには？～

応募総数 671 編の中から多摩中央警察署署長賞 1 名、多摩稲城防犯協会会長賞 1 名、優秀賞 16 名の計 18 編を表彰者として選定しました。表彰式については、3月2日(水)に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症に伴う「まん延防止等重点措置」の適用が延長されたため、残念ながら中止とし、表彰者各中学校に表彰状と副賞(図書カード)を届けました。

「多摩稲城防犯協会 会長賞」

特殊詐欺は、年齢関係なく起こりうるものですが、その中でもっともオレオレ詐欺などの被害が高齢女性に集中している原因としては、在宅時間が長く同居割合も高いということで、自ら電話等の応対をする頻度が高いといった生活パターンも原因の一つでしょう。振り込め詐欺の中でも融資保証金詐欺の被害は経営者が多い四十、五十代男性に目立ち、架空請求詐欺については、幅広い年齢層が被害にあっていることから、「誰しもが詐欺の被害になりうる」という認識を持つことは重要です。高齢者の過信、(自信過剰)と詐欺被害については、「だまされない自信がある」と思っている人が多く、高齢になるほど強まることも明らかになっています。行動経済学では、この「自分はだまされない」といった自分自身の能力や性格に対する過度な楽観を「自信過剰(バイアス)」と呼び、楽観主義は、とりわけ自分の力では制御できない外的な問題に対しては、自尊心や心の健康の向上に役立つ面もあるでしょう。しかし、投資などの金融行動をはじめ、生活上の重要な判断を求められる局面においては、大きな危険の原因となり得ます。詐欺についても同様であり、自信過剰は被害防止や予防策への無関心の原因となります。

このような原因を解決する為に対策としては、一つ目は「自分や自分の家族は大丈夫」という思い込みを捨てること。常に「自分もだまされるかもしれない」という意識を持っていた方が逆に安心です。二つ目は特殊詐欺・振り込め詐欺の常套句を電話の横に貼っておくことです。電話を受けたときに、振り込め詐欺の常套句を目にすることで、怪しい電話かどうか判断しやすくなります。このように、これらの対策を活用して少しでも高齢者の特殊詐欺が減ればいいなと思います。

多摩市立諏訪中学校 二年 川口 希穂菜

「多摩中央警察署 署長賞」

近年、電話で詐欺に遭ってしまう高齢者が増加している。実際に、私の祖父母にも詐欺の電話があり、多くの高齢者が被害を受けている。

では、どうして電話で騙されてしまうのだろうか。一つの原因は、子や孫への愛だろう。子供や孫を装い、お金を騙し取る詐欺は「助けてあげたい。可哀想だ。」という愛を利用してしている。

もう一つは、相談できる相手が私達と比べて少ない傾向があることだろう。犯人から多くの情報を伝えられて混乱し、止める相手がいないまま被害に遭う、というケースが多い。

このような詐欺から自分達の祖父母を守る為に、何が出来るのだろうか。孫という存在に関連した詐欺なら、私達にできることは多い。例えば、頻繁に連絡を取ることだ。その時に何か怪しい電話があったか尋ねたり、詐欺に注意するように伝えるといいだろう。私も祖父母と話す時は、本人だと確認する為の合言葉を作るなど、色々な策を取っている。それに、電話でたくさん話せば、孫の声を覚えることができるから、詐欺の電話で違和感を感じて、被害を食い止められるかもしれない。もし直接会う機会があれば、詐欺のシミュレーションをしてもいいだろう。自分が犯人役で、詐欺がどんなものかを体験してもらえば、より警戒心を持ってもらえると思う。

今まで、詐欺について深く考えたことはなかったが、オレオレ詐欺は私達の力で被害を防ぐことができる気が付いた。詐欺に遭ってしまえば、二度とお金は返って来ないし、後悔も募り、心は傷つく。自分の大切な家族を少しでも詐欺の被害から守り、安心して暮らしてもらう為に、自分ができることに最大限取り組んでいきたいと思う。

多摩市立諏訪中学校 二年 榎本 麻優香

多摩中央警察署 署長賞 (1編)

多摩市立諏訪中学校 2年 榎本麻優香

多摩稲城防犯協会会長賞 (1編)

多摩市立諏訪中学校 2年 川口希穂菜

優秀作品 (16編)

多摩市立多摩中学校	1年	大貫	千空
多摩市立諏訪中学校	2年	山下	心菜
多摩市立諏訪中学校	2年	北中	美花
多摩市立和田中学校	1年	三瓶	理央
多摩市立和田中学校	1年	高杉	凜
多摩市立和田中学校	1年	清水	亜桜花
多摩市立和田中学校	1年	鈴木	愛莉

稲城市立稲城第二中学校	2年	岩尾	小蒔
稲城市立稲城第三中学校	2年	桐生	紬希
稲城市立稲城第三中学校	2年	藤本	梨央
稲城市立稲城第三中学校	2年	赤松	咲英子
稲城市立稲城第三中学校	2年	武田	優依
稲城市立稲城第五中学校	2年	治田	萌杏
稲城市立稲城第五中学校	2年	野村	明日香
稲城市立稲城第五中学校	2年	深町	琴海
稲城市立稲城第五中学校	2年	阪倉	氷菜多

各支部活動

東長沼支部

増田 幸雄

東長沼支部は、北は多摩川、南はよみうりランドゴルフ場境界に至るまで南北に長い区域となっており、JR稲城長沼駅、京王線稲城駅を配し川崎街道、鶴川街道、南多摩尾根幹線道路など主要道路が貫いており、約6700世帯（令和3年）の規模となっています。

防犯活動は、毎月1回の地域安全パトロールを中心に、年2回の市内一斉パトロール、防犯駅伝パトロール等に参加しています。自治会役員を中心に女性支部、自治会女性部会、みどり常春会、自主防災組織等から毎回約40人程度が参加してくれます。まず各自宅から東長沼自治会館まで防犯ユニホームをまとい徒歩にて警戒パトロールを実施します。自治会館に集合し、東長沼駐在の警察官から犯罪発生状況や注意点などのお話を聞き、その後ゴミ拾いや防犯ビラのポスティング兼パトロールを行いながら自宅までの帰路につきます。一方、自治会館集合の前後、役員は市から青パト車を借り受け、安全防犯街宣を行いながら全域のパトロールを実施しています。



また、美しいまちは犯罪が少ないとの現実から、地域美化運動と防犯活動を連携させて活動しています。JR稲城長沼駅前のいなぎペアパークと京王稲城駅近くの亀山下公園の花植えを夏・冬の年2回実施し、防犯活動に役立てています。

今後、東長沼支部は地域の皆様の防犯意識を高め、子供達や高齢者の見守りに注力し、犯罪の無い安全で住みやすいまちづくりに努力して行きたいと思えます。



愛宕2丁目支部

星野 義久

当多摩市愛宕二丁目支部は、平成23年に結成されました。

活動は、当初から【①定期活動】月1の夜間巡回パトロールと、青パトカーによる日中パトロール（青パト使用は、高齢化もあり今実施回数は減っています）を11年間続けております。

【②多摩稲城本部活動】防犯の集い、駅伝パトロール等は常に参加。…昨今、コロナ禍で休止多し。

活動は、平成24年から管理組合役員（任期2年）を外れたため、女性4人（今年1名増）男性2人の少数で頑張っております。只、高齢化と相まって後継者のための若手発掘がいよいよ喫緊の課題となっております。

（注）男性はユニホームを着ていませんが、夜パトロール日と出勤日が重なり、直接参加したためです。



若葉台2丁目支部

稲田 光利

若葉台2丁目支部は、緑豊かな若葉台地区にある「ファインストーリーア団地自治会」と「ゆうわ会（みどりクラブ）」の役員を中心に活動しております。



防犯パトロールは、ゆうわ会メンバーを中心に学童の通学時間に合わせて、毎週月曜日に学童に声をかけながら登校パトロールを行っています。下校時にはゆっくり歩きを兼ねたパトロール（厳冬期を除く）をしています。また、「駅伝防犯パトロール」（5月）や「市内一斉防犯パトロール」（年2回）にも積極的に参加をしております。

環境美化活動としては、毎月第三土曜日に近隣事業者の皆様も参加した団地周辺の美化・清掃活動を行っています。さらにアダプト制度の花壇整備として稲城第六中学校の生徒と一緒にフラワーロードの花壇づくり「六中ふれあいの日」を実施しており、犯罪防止に一定の成果を上げてきたと感じています。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、全般的に制約を受けた活動となりましたが、今後とも団地住民間のコミュニティー形成の活発化を通して、より安心・安全な日常生活が送れるような環境整備をはかっています。



貝取豊ヶ丘支部

本吉 顕

自分達の街は自分達で守る

私達貝取豊ヶ丘支部は、こぶし館を拠点に自分達の街は自分達で守るを合言葉に活動を行っています。

例えば、

- ・毎月第2土曜日、第4水曜日の4時から地域のパトロール（これは地域を3つに分けて順番にパトロールをする）
- ・子供達の登下校の見守り（不定期）
- ・青少協のあいさつ運動や夜間パトロールの協力
- ・こぶし館まつりや地域の夏まつりパトロール
- ・生協や三徳の店頭で特殊詐欺被害防止キャンペーン

これらを通して地域の大人や子供達と挨拶を交わしながら、顔見知りになり安全で安心な街づくりをしています。



しかし、新型コロナ感染拡大に伴い、各団体の事業やパトロール等が中止になってしまい、心配な部分もありますが散歩や買物の際に挨拶や地域の環境等を注意しつつ、何かあれば駐在の後藤さんに連絡して対応してもらったり、個々で出来る事を今して頂きながら、又、皆でパトロール出来るようになる事を願っています。

支部の私達は、ひとりでも多くの人達が賛同して参加してくれる事を願っています。これからも宜しくお願い致します。

